

令和2年度 文教厚生常任委員会活動報告書【最終報告】

1. 活動テーマ（重点調査事項）

健康寿命の延伸について

2. そのほか委員会で取り上げたいとして計画書に掲げた調査事項

- ・子どもの命を守る対策について
- ・障がい者に対する施策について

3. 活動実績（令和2年度）

○所管事務調査

1) 令和2年5月11日（月）

各課における事務事業の内容及び執行状況について

※新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言等を踏まえて、書面調査のみを実施

2) 令和2年7月8日（水）、9日（木）

- ①再開後の小中学校の状況について
- ②民生委員の相談実態について
- ③歩くまち柴田推進委員会の進捗状況について
- ④しばた健康づくりポイント事業の今後の展開について
- ⑤健康推進員及び運動普及リーダーの現状について

3) 令和2年10月6日（火）、7日（水）

- ①船迫公民館の復旧状況について
- ②阿武隈運動場の復旧状況について
- ③（仮称）総合体育館建設予定地造成事業の進捗状況について

※調査結果は別紙一覧表のとおり

○その他委員会での協議

1) 令和2年6月16日（火）

- ①委員会活動計画等の振り返りについて
- ②今後の所管事務調査等の予定について

2) 令和2年11月5日（木）

健康寿命の延伸に関する提言書について

3) 令和3年1月6日（水）

移住定住促進についての提言書について（協議）

4) 令和3年1月25日（月）

健康寿命の延伸に関する提言書について

5) 令和3年1月27日（水）

- ①健康寿命の延伸に関する提言書について
- ②委員会活動のまとめ

4. 委員会としての成果及び反省

先進地視察、住民との懇談会などを踏まえて「町民の健康寿命延伸に関する提言書」を出すことができた。なお、委員全員で家トレ30に4か月間取り組み、健康のための運動を自らが実践した。

令和2年度はそのほか委員会で取り上げたい事項として掲げた「子どもの命を守る対策について」「障がい者に対する施策について」も調査する予定であったが、コロナ禍もあり、調査をすることができなかった。

文教厚生常任委員会 所管事務調査結果一覧表（令和2年度）

調査日	調査所管課	調査結果内容
7月8日(水) ～7月9日(木)	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設の消毒作業が必要となる期間中は、教職員の消毒作業の負担軽減のため、仙台大学生など外部人材を活用すること。 ○GIGAスクール構想の実現に向けた児童生徒一人一台端末の整備については、新型コロナウイルス対策での活用のみならず、家庭学習での活用や不登校児童生徒への活用など幅広く端末が活用できるよう整備を進めること。
	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ○歩くまち柴田の推進のため、町民への情報提供手段であるホームページ（シバタルク）を早急に公開すること。 ○しばた健康づくりポイント事業は参加申込者数が伸び悩んでいる。ポイントカードの有効期限、ポイント付与の仕組み、対象事業、賞品など、多くの方が参加しやすくなるよう総合的な見直しを検討すること。 ○各種通知書等の郵送への切り替えに伴い、健康推進員の役割の見直しが必要である。住民への健康情報の提供をはじめ、地域で活躍できるよう、業務内容を明確にすること。 ○健康づくりの牽引役として、運動普及リーダーが地域で活躍できる体制を整えること。
10月6日(火) ～10月7日(水)	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ○船迫公民館の図書については、早期に公民館図書室としての体裁がとれるよう、新刊購入の予算を十分に確保するとともに、町図書館の支援を受け、図書の充実を図ること。
	スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> ○阿武隈川運動場については、現状での利用を前提に、速やかに使用する意向のある団体と、今後の管理のあり方について話し合いの場を設けること。